

せんぽと一期一会

せんぽと一期一会 第51号

発行日：2022年7月1日

発行：特別養護老人ホーム

せんぽ瓜破東



今年はお祭り楽しめるかな？なんて声がちらほら聞こえます。世間ではイベントの開催も緩和され、夏のお祭り再開のお知らせも増えてきました。一部の地域では花火大会も開催されるとの事で、入居者様の間では「夏がきたね♪」とニコニコお話しされています。今年には花火のように、笑顔が弾ける夏を迎えられたらと思います。

1階フロア



先日、和歌山の郷土料理「かきまぶり」風のちらし寿司が昼食にできました。「まぶり」というのが、かき混ぜるという意味で「かき混ぜ」と文字が混ざって「かきまぶり」となったのが名前の由来のようです。ちらし寿司を楽しみにされている入居者様も多く、提供時には、皆さまたく笑顔があふれておられました。

2階フロア



とっても素敵な帽子をかぶり渾身のピースサイン。左の写真は、施設の周辺をお散歩した時の一枚です。「良くお似合いですね」とお声掛けすると「いやん、困っちゃう」と、すごく嬉しそうにいて、照れくさそうでした。ちょっとした外出でもオシャレに気を遣う。これが若さを保つ秘訣だと思えました。

3階フロア

4階フロア

先日、散歩に出かけました。なかなか外出できるタイミングがなく、入居者様は「ええ天気で気持ちええね!」と言われ、ておられました。

途中に綺麗なお花が咲いていたので、一緒に眺めていたら、心が洗われる思いでした。

人生、花のようなものです。これから笑顔で過ごしましょう!



職員紹介



作江 ひとみ

せんぽ瓜破東に勤務するようになって、早一年と八カ月が過ぎ、最初は苦手だった事も少しずつ慣れてきました。入居者様に対する気づきや対応の仕方などリーダーから色々教えて頂きながらこれから入居者様が穏やかに過ごして頂ける様、心がけていきたいと思えます。

施設内勉強会

6月9日・23日に褥瘡予防に関しての勉強会があり、参加者全員で意見交換が出来るグループワークの形で行ないました。1つの事例に対して、各グループが課題と対応策を話し合い、グループごとに発表しました。

また、今回は(株)クリニコ様にも外部講師として参加頂き、予防に対する栄養補助食品の解説や、栄養補助食品の試食会を行なって頂きました。

研修を終えて参加者の声を聴くと「楽しく学ぶことが出来た」「自分では考えつかなかった発想や気付きがあり、とても勉強になった」などグループワークも好評で、学びに繋がったという声を多く聞くことが出来ました。学んだ知識を実践に結び付けていけるよう、職員一同頑張っていきたいと思います!

地域密着型特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム

せんぽ瓜破東

〒547-0022 大阪市平野区瓜破東8丁目8番6号

電話：06-6700-5000 FAX：06-6700-5100